

ナイジェリアにおける問題点と要望

区分	意見元	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法
12為替管理	日機輸	(1)	外貨規制手続の不透明性	・外貨規制について、手続の進行状況が分からない。確認しても回答が得られない。	・手続状況を明確化し、現時点でどこまで進んでいるのかを確認できるようにしていただきたい。	
	日機輸	(2)	二重為替制度	・2016年6月に変動相場制へ移行したにも拘わらず、公表レートと並行市場のレートとの格差が拡大している。 又、公表レートでの外貨調達に困難となっている。	・公表レートと並行市場レートとの格差を是正し、公表レートでの外貨調達を問題ない様にして欲しい。思い切った通貨政策が望まれる。	
13金融	日機輸	(1)	外貨不足	・ナイジェリアの外貨不足から、L/Cの開設遅延が頻発していたが、最近の原油価格及びナイジェリア国内での石油生産量の多少の回復から、小口の場合L/Cの開設遅延は改善されてきている。但し、大口案件については、依然外貨規制の問題がある模様。	・南部油田地帯での武装勢力による石油施設への破壊活動から、石油生産量が減少し、これが外貨不足の主因となっていた。最近では政府と地元住民との対話から、一時的に石油施設への破壊活動は治まっているが、いつ再発するかは予断を許さない状況と思われる。地元住民と政府との真摯な対話の継続が望まれる。	
14税制	日機輸	(1)	税務当局の査定能力	・法人税・VAT・個人所得税いずれも、税務当局がナイジェリア国内税法に準拠しない不明確な判定基準や調査官個人の裁量により多大な徴税額の査定を行う事例がある。	・税務当局における税法に基づいた課税。	
26その他	日機輸	(1)	治安問題	・首都アブジャ、並びに商業都市ラゴスにおいても日本政府の危険度ランクは2となっており、一部日本企業では、出張もなかなか困難な地域と位置付けられている模様。又、危険度3以上の地域も半分近くを占めているものと思われ、ナイジェリアでのプロジェクトの推進においては、治安の問題が一つの大きな懸念材料と言える。	・アブジャ及び、ラゴスでの治安の改善がまずは必要(日本の交番制度の様なもの導入も、一つの改善の為の施策となり得るかと思われる)。将来的には危険度2以上の地域を減少させるべく、ナイジェリア政府のその政策に期待したい。	
	日機輸	(2)	未発達なインフラ	・電力や交通網等のインフラが未発達となっている。停電が頻発しており、住居の他、製造業等においては、自前のゼネレーターを設置なくては企業活動に支障を期す状況となっている。産業多様化推進への協力を検討しているが、電力コストが高くならざるを得ない状況で、最終製品へのコスト転嫁となり、競争力のある製品ができない状況となっているものと考えられる。又、交通網の未発達からラゴスでの渋滞が著しく、移動にはかなりの時間を要する状況。経済活動に支障を期している。	・日本のODAの増強等により、交通網の整備(道路建機のSupplyやAGT案件の推進)、並びに発電案件等への協力が期待される。	